

令和4年度 第4回 富塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月22日（水） 14時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 富塚中学校 2階会議室
- 3 出席委員 井口 隆夫、森光 隆明、遠藤 喜和、仲村 由紀子、島田 篤志、加藤 宏史、  
松澤 久仁美、行森 瑞恵
- 4 欠席委員 安間 忠雄、山口 明子
- 5 オブザーバー 野嶋 京登（富塚協働センター主任：コミュニティ担当）
- 6 学 校 中津川 貴一（校長）、松島 雄次郎（教頭）、深田 貴代（教務主任）、  
岩邊 三幸（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 会議録制作者 CSディレクター 岩邊 三幸
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、島田会長から行森委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価について
- （2）次年度の学校運営基本方針について
- （3）学校運営協議会自己評価について

11 会議記録

司会の松島から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価、（2）次年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき学校関係者評価について、また校長から、別紙資料に基づき次年度の学校運営基本方針についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 富中の生徒は学習意欲も高く、様々な地域の活動に積極的に参加しているので、地域の中で学校の動きがよく見える活動をしていると感じる。コロナ禍とは言え、徐々にイベント数も増えてきているので、その中で子供たちと積極的にコミュニケーションをとれるような雰囲気、地域作りを目指したい。（島田委員）
- ・ 昨年もそうだったと思うが、生徒の自己評価アンケートの目標を達成するために計画を実践しているという項目は評価が低く苦手である。これは大人でも実現しにくいと思うので、プロスポーツ選手等、生徒が懂れている方のお話を聞く、また関連の講師を呼ぶ等、自己目標の立て方、具体的な実践方法を学ぶ機会を与えてはどうか。（加藤委員）
- ・ 富塚中学は若い先生も多い。これは提案だが、生徒だけでなくこういった若い先生のケアも考えてはどうか。若い先生は社会人経験がないので、対応方法がわからない。民間企業の方とディスカッ

ションやマネジメント協議をする等、教育以外の場を経験してみてもどうか。(加藤委員)

⇒個人目標や目標設定の立て方ということに関して、大事だと思っており、その目標に関しては長期過ぎない、短期の方がいいと思っている。今年度来て頂いた、いぬじゅんさんの講演もそういった意図がある。来年度6月には内山絵里加アナウンサーを招き講演をしてもらう予定であり、夢を持つことの大切さ、それに向けての努力の大切さ等をお話してもらえればと思っている。(校長)

- ・中学生は多感な時期であり、家庭において親が子供の活動の現況を把握するのが難しい。学校生活を把握できるものとして、できればブログの発信を増やしていただきたい。(松澤委員)

⇒昨年末に学校のHPが浜松市で統一化されたものとなり、掲載項目・内容が縮小した。(教頭)

⇒ブログ発信者については当番制になっているのもあり、掲載内容に多少時間差がある。今後はできる限りその日のうちに上げられるように、職員で話し合いながらHPの内容を充実化させたい。(深田)

- ・アンケート結果を見てみると、先生方のコミュニティ・スクールについての項目において数値があまりよくないと思う。協議会で先生方からニーズを明確にしてもらい、教えていただければ、できる限りこちらがその要望に応じていきたいと思う。(遠藤委員)
- ・社協においてはコロナ禍でボランティア活動もなかったことから、積極的にこどもに関わることができなかったというのが反省点である。今後子供たちと話し合える場を設けていただいて、生の声が聞ける機会があればと思う。(森光委員)
- ・自治会の中で中学生の位置づけが曖昧で、自治会事業の中に組み込むのが難しい。今年度はボランティア活動で部分的にお願いすることができたが、実際子供たちが自治会に何を求めているのかを聞いたことがない。その点を反省しながら、今後子供たちと自治会がどういう関係を構築できるか模索しないといけないと感じている。(井口委員)

### (3) 学校運営協議会自己評価について

議長の指示により、島田会長から、別紙資料に基づき今年度の学校運営協議会自己評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・協議する場において、何かを重点的に見て、偏った考えをしてはいけない。協議員として、学校と地域が全体を見ながら正しい方向に向かっていかなければと思う。(森光委員)
- ・学校運営協議会は基本的に学校側がどういう目標やビジョンで取り組んでいるかを理解した上で、地域と学校がどういう形で関わるか、何が必要なのかを理解し話し合いをする場である。富塚中のCSにおける取り組みとしては長年のキャリアもあり、目標設定もしっかり構築されているので、地域の手でどのようにサポートできるのか、コミュニケーションを取りながら、また一緒に考えていきたい。(島田委員)

### その他の連絡事項

司会より、今年度の夢育やらまいか事業CS加算分として、ホワイトボードを購入し、地域人材を生かした学習で、講師と生徒、生徒同士によるグループ活動を実施したとの報告があった。

また司会から、次回会議は令和5年度5月12日(金)午後2時30分から2階会議室で開催する旨の報告があった。